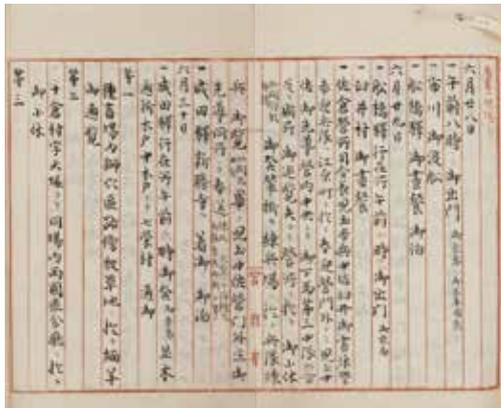


第三章 行幸・行啓と千葉

● 下総種畜場への行幸のあと

明治期の千葉県内への行幸は、明治六年（一八七三）を始めとして軍事に関連するものがほとんどでした。そのなかで、明治十四・十五年の下総種畜場への行幸は、牧畜の技術改良の様子などを視察するものでした。またこの行幸では御料馬車だけでなく御料馬も用いられました。宮内庁と地域に残された資料からは千葉の人びとが天皇に「ふれた」様子をうかがうことができます。



11 幸啓録八

明治十四年（一八八二）

宮内公文書館蔵

「幸啓録」には、明治十四・十五年の下総種畜場への行幸に関する宮内省側の資料がつけられています。行幸の列が出発した六月二十八日から七月二日の還幸までの詳細な行程も残されています。

12 明治天皇行在所玉座の間

平成二十七年（二〇二五）撮影

成田山新勝寺

成田山新勝寺で行在所とされた客殿奥座敷のうち、玉座が置かれた部屋が現在も保存されています。明治四十年（一九〇七）、皇城内にあった庭中門が、明治天皇の外戚に当たる中山家から、行在所に付属する四脚門として新勝寺に奉納され、これも現存しています。



● 明治末期の行啓

明治四十四年（一九一）、千葉県庁舎の落成を記念して、千葉県教育品・地方資料展覧会及び千葉県共進会が開催されました。同年五月、皇太子が千葉に行啓し、地方資料展覧会のほか、銚子、佐倉、佐原、四街道、習志野、成東、船橋、市川、松戸などで県立学校や軍の施設などを訪れました。



13 東宮殿下行啓記念絵葉書

明治四十四年

千葉県文書館蔵

皇太子の千葉、行啓を記念して千葉県が発行した絵葉書です。「行啓記念 44・5・19 千葉県」というスタンプが押されています。

14 東宮殿下行啓関係書類

明治四十四年

（公財）日産厚生会佐倉厚生園

病院所蔵・佐倉市寄託

明治四十四年五月の佐倉町（現・佐倉市）堀田伯爵邸や堀田家農事試験場への行啓に関する書類です。準備の様子などが記されています。

